



出会いは人生の種まき。 元気村・夢の農村塾

「元気村・夢の農村塾」 会員数:21戸

《農村塾とは?》

農村塾は、「農業と農村の応援団を作りたい」という想いから平成14年3月に19戸の農家で設立した組織です。

農業体験の受け入れを行い、学生に農業・農村に触れる機会を作ること「食」「農業」「農村」の感動体験を提供しています。

《農村塾への想い》

私は平成16年に農村塾へ加入しました。

当時、拓殖大学北海道短期大学の社会人学生だった私は、消費者が農村に触れる機会が減り「生産する人」と「食べる人」の距離が遠くなっていると感じ、農村塾の存在を知り「挑戦したい」という気持ちが芽生えました。

気が付けば、20年が経ち農家の戸数は激減、子どもたちの数も減り、コロナ禍もあり…状況は驚くほど変わりましたが20年前から気持ちだけは変わらず日々頑張っています!

農家戸数が減っている中でも、管内には頑張っている若い人が沢山いると感じています。

今後ももっと仲間を増やして農村塾が続いていけば嬉しいです。

会員みんなで頑張って活動しています!

Instagramで「#元気村夢の農村塾」と調べると体験の様子などを見ることができます!

新聞などでもたまに紹介されていますのでどちらも見て頂けると嬉しいです!

村上 はるみ 塾長



読者の声

「ぽっときたそらち」にお寄せいただいたご感想の一部を紹介します!

前回のぽっときたそらち第10号「農福連携」より

このような取り組みをしているのは初めて知りました。農業と福祉の両方にとってwin-winなのではないでしょうか。もっと広がっていくといいですね。
(深川市 60代 女性)

担い手不足・高齢化が加速する中、農業分野において働き手をどう確保するのか、「農福連携」含め農業後継者確保に向け課題解決に努めて下さい。
(深川市 80代 男性)

農福連携…素晴らしい取り組みですね。ハンディがあっても出来ることは沢山あるんですね。もう年だからあれも無理、これも出来ない可能性をつぶしている自分を大いに反省しました。
(深川市 70代 女性)

高齢化が進んで色々な分野で大変だと思いますがきたそらちは「農福連携」とても素晴らしい!!と思います。これからもきたそらちの美味しいものを食べたいと思います!
(深川市 60代 女性)

「ぽっときたそらち」プレゼントクイズ

問題

北空知で農業体験の受け入れを行い、学生に「食」「農業」「農村」の感動体験を提供している団体の名前は?
ヒント: 元気村・〇〇〇〇〇

正解者の中から、抽選で10名様にJAきたそらち産米 5kgをプレゼントいたします!

応募方法

JAきたそらちホームページ特設応募フォームまたはハガキ、FAXで、①クイズの答え②住所、氏名、年齢③「ぽっときたそらち」に対するご意見ご感想を記入の上ご応募下さい。締め切りは10月31日消印有効で、クイズの答えは当JAのホームページ・Facebook・Instagram上にて11月中旬に発表します。なお、当選者の発表につきましては、商品の発送をもってかえさせていただきます。

【送り先】

〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
JAきたそらち 農業振興部 営農企画課
FAXの場合は 0164-22-1228

JAきたそらちホームページ特設応募フォーム

URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

締め切り
10月31日
消印有効



わざわざ北海道まで来て「農作業?」そんなことを思った方はいませんか?今回は9戸の会員宅に伺い取材をさせて頂きましたが、どの生徒も「楽しい!」「一生の思い出になります!」と本当に楽しそうに農作業をしていました。聞いたところ、受け入れた学生の中には、数年後社会人になってから会いに来る方もいるとか。まさに「出会いは人生の種まき」ですね。



村上 はるみさん宅 (深川市)



受け入れを行っている、生徒の普段の様子
がわかるのでとても面白いです♪片づけを率
先して手伝ってくれる子は普段から家事をして
いたり、料理には普段カット野菜を使うため、
ピーラーを初めて使った!という子もいます。子
どもたちに「ご飯が美味しい」と言われるとと
ても嬉しい。明日も頑張ろうと思えます!



【主な作付品目】
水稻
大豆/小麦

作業内容:大豆の草取りなど

体験した
生徒の
コメント!

日差しが強く暑かったけど、風が涼しくて気持ち
よかったです。草取りも機械ではなく一つひとつ手作
業でとっているなんて消費者側からはわからない苦
労を知ることができました!みんなで軽トラの荷台に
座り景色を楽しみながらお菓子を食べたのが最高で
した!

溝口 勝さん めぐみさん宅 (深川市)

私は「農業」だけを教えるの
ではなく、子どもたちが社会に
出たときに役立つ経験を積み
場にしてあげたいと思っています。
全く知らない人とコミュニ
ケーションをとって一緒に仕事
をするのは大変だけれどいい
経験になると思う。子どもたち
は経験を積むことができて私
たちは人手が増えてwin-winか
なと思っています!忙しいご飯
を用意するのも確かに大変。で
もこちらでも学ぶことができるし
普通に楽しい!やってみれば意
外とできますよ~!



【主な作付品目】
水稻/大豆/小麦/サツマイモ

作業内容:
ビニールハウス
組み立てなど

体験した
生徒の
コメント!

虫が苦手なので、虫
が沢山いるのが大変
でした。ただ北海道は
涼しくて空気が美味し
い。作業も想像よりつ
らくはなかったしご飯
もおいしかったです!

小松 由美さん宅 (北竜町)



【主な作付品目】
水稻/小麦/大豆
ソバ/トウモロコシ

作業内容:
農業機械の見学など

体験した
生徒の
コメント!

家の近所にも田んぼは
あるけどここまで大きくは
ないので驚きました。コン
バインの運転席、意外と高
くてびっくり!乗ったことな
いのでいい思い出になり
そうです!



出会いは 人生の種まき



桑野 佳子さん宅 (深川市)



【主な作付品目】
水稻
キュウリ
野菜苗

作業内容:
きゅうり収穫、箱づくりなど

体験した
生徒の
コメント!

大阪にはない広大な畑
にびっくりしました。草取り
の作業はしゃがむ作業が大
変で腰が痛くなりましたが
達成感があって楽しかった
です。



受け入れを行った農村塾の会員

石田 隆広さん 佐智子さん宅 (沼田町)

作業内容:選花作業など



体験に訪れるのは都会の農業を全く知
らない子がほとんど。都会の子に農業を通じて
感動体験を伝えたい。たまに体験した生徒の
親から連絡がきて「体験前は食べられなかつ
た野菜が食べられるようになった」と感謝の
連絡が来た時はとてもうれしかった。

コロナの時期もあり、受け
入れができていない期間が
長いと感覚を思い出すまで
が大変でしたが、久しぶりに
道外の子と交流できること
がとてもうれしいです。



堀 直美さん宅 (沼田町)

作業内容:
かぼちゃのツルの誘引など



鶴山 八千子さん宅 (沼田町)

作業内容:薪の積み込み作業など

まだ受け入れは3回目ですが、高
校生を受け入れ若い世代からの刺激
を受けています(笑)初めは虫を怖
がっていた子たちもだんだんと慣れ
てきたり生徒の色々な変化を見ら
れることがうれしいです。

作業内容:いちごの収穫など

私自身、農業を知らない感覚はわ
かるので都会の子に農業の楽しさを
伝えるやりがいも感じています!私に
は子どもがおり、学生を受け入れる
ことでお兄さん、お姉さんに遊んでも
らえたりもする。子供のためにも人の
出入りが多い家にしたいという思い
から受け入れをおこなっています!



寺木 佳奈さん宅 (沼田町)

橋向 美月さん宅 (妹背牛町)

作業内容:
トマト収穫、ペンキ塗りなど



来てくれた子どもたちが、北海
道の景色や作った料理を喜んでく
れるので「これが美味しいんだあ」
「これが良い景色なんだあ」と改め
て環境の良さに気づく事ができま
した。もっと農村塾の会員が増え
てくればと思います。

今回取材した学校

桃山学院高等学校 (大阪府)

- 全校生徒...約1,800名
- 今回農村塾に訪れた生徒は36名

先生からのコメント

都会では体験できないような素
晴らしい経験になりました。地元
の方に支えられながら、普段な
にげなく手にとっているものも
苦労して作られていることを知
り、ありがたみを感じることがで
きたのではないかと考えていま
す。ありがとうございました!

「元気村・夢の農村塾」 は会員を募集中!

- この地域に訪れた学生に、「楽しい思い出」を
提供しています!
- 農家でも非農家でも構いません!
- 家庭菜園の野菜を収穫する、それを一緒に食
べるなどちょっとした体験でもOK!

興味のある方はこちら

TEL: 090-1386-5100
(村上塾長の携帯)

